

様式1 令和7年度 山梨県立ろう学校 学校評価実施報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	幼児児童生徒のたくましく生きる力と豊かな言語力を育む ○一人一人の特性に応じた適切な指導及び必要な支援の充実を図る ○自身の力を発揮し、自分が自分らしく生きる力を育成する ○物事に対し、周囲の人とともに取り組む力を育成する
-----------	--

山梨県立ろう学校校長 中村 知佳

本年度の重点目標	1. あらゆる教育活動の場に発達段階に応じたコミュニケーション活動を位置づけ、豊かな人間性を育み、言語力・コミュニケーション力の向上を図る	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2. 個々に応じた合理的配慮によって、わかりやすい授業を実践し、学力の向上を図る		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3. 心の教育・キャリア教育を充実し、社会的自立に必要な能力や態度を育成する		C 不十分である。(4割以上)
	4. 家庭・地域等との連携及び聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図る		D 達成できなかった。(4割以下)
	5. 安心・安全な学校づくり		

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

本年度の重点目標		自己評価	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	豊かな人間性を育み、言語力・コミュニケーション力の向上を図る	①「見る・聴く・読む・書く・発表する」対話的なやり取りの知識・技能を高める。	聴能・手話・発音等聴覚障害に関する研修
		②集団活動の中で、積極的にコミュニケーションを図るための工夫をする。	集団授業、交流及び共同学習、部活動、行事等の実施 運動会等異年齢集団行事の活用
		③2学期制の良さを生かした長期的な視点での継続的できめ細かな指導と評価を行う。	行事等の整理、会議の効率化による授業の充実 個別指導計画の達成状況
2	個に応じたわかりやすい授業を実践し、学力の向上を図る	①専門性の維持・向上のための外部専門家等を積極的に活用しながら、分かる楽しさ、できるうれしさを味わえる授業力向上を図る。	授業公開、研究授業の実施(含相互授業参観)児童・生徒による評価 客観的な指標を用いた評価
		②「やまなしスタンダード」を基本においた授業を軸に、相互授業参観や研修による自己研鑽に努め、教員の専門性を高めて、授業力の向上を目指す。	ICT機器を活用した授業・行事等の実施
		③2学期制の良さを生かした長期的な視点での継続的できめ細かな指導と評価を行う。	行事等の整理、会議の効率化による授業の充実 個別指導計画の達成状況
3	心の教育・キャリア教育を充実する	①道徳教育を推進し、人権尊重の意識を育成する。系統的・継続的なキャリア教育の推進により、人間形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意思決定能力を育成する。	いじめアンケート ICT能力実態チェックシートの活用状況 キャリア・パスポートの作成・活用状況
		②学校間交流、地域交流、居住地校交流など交流及び共同学習に積極的に取り組む。	地域を知り、地域に知ってもらい地域とともに行う活動の充実
		③地域における障害者理解を進め、就労支援や一般就労の拡大を図る。	勤労体験、インターンシップ、現場実習、社会科見学等の実施状況
4	家庭・地域等との連携及び聴覚障害教育のセンター的機能の充実を図る	①保護者の理解と協力を得る丁寧な説明を推進する。	保護者との情報共有・保護者学習会等の実施 保護者の図書室の利用促進 BLENDの効果的な活用
		②学校運営協議会設置校として、地域とともにある学校づくりに努める。	学校運営協議会の開催 取組内容
		③外部専門家を活用した助言や援助を行う。	STの帯同、支援実績
5	安心・安全な学校づくり	①防災教育や避難訓練を計画的に実施する。	避難訓練、防災訓練等の実施
		②家庭、地域、関係機関と連携した安全確保に向けた取り組みの充実を図る。	学校安全計画、危機管理マニュアルの更新
		③感染症等の予防及び蔓延防止対策の徹底を図り、健やかな学びを保障していく。	感染症等に対する管理の徹底及び校内の環境美化・整備

学校関係者評価	
評価	意見・要望等
4	・子供たちが安心感を持って学校生活を送っていることが分かる。 ・校内研修会は、本校の高い教育力を維持・発展させる基盤となる取り組みなので、今後も不易流行の視点に立ち、ろう教育の本質的価値を大切に守りながら、社会や教育環境の変化に応じた教育実践を積み重ね、高い教育水準の継続とさらなる向上に繋げていくことを期待する。専門的な研修の成果を、全校共通のコミュニケーション方針として整理し、新しく着任した教職員や保護者に分かりやすく共有し続けてほしい。 ・デフリンピックを題材とした教育活動および外部への啓発に学校として積極的に取り組まれたことは高く評価できる。ろう文化やろう者スポーツへの理解を深める教育として、さらに児童生徒、教職員の皆さんにとっても先輩方はモデルとなったと思う。今後も継続的な教育活動として発展していくことを期待する。
3	・言語聴覚士(ST)等の外部専門家を授業に招聘し、聴力測定や発音指導の具体的な助言を指導に活かしている点は、個別最適化された教育のモデルと言える。 ・生徒・教職員ともにICT活用の実感が非常に高く、視覚的な支援が学びの質の向上に大きく寄与していることが伺える。今後も学校での学びを家庭での意欲に繋げるための連携や、保護者への情報提供の工夫を期待するが、授業中の子供の様子について、ICT活用が「自律的な学び」に繋がっている姿を公開授業等で見ていただくとよい。 ・少人数だからこその個別学習は学びの重要な形態であり、学習形態の多様化が進む現在において、きめ細かな個別指導が可能であることは本校の強みである。一方で、複数人での学びや集団での関わりについても、協働的な学びや学校行事等を通して適切に補われていると感じられる。 ・本校での学びによって子供たちがどのような力を身につけたのかを、子供たちや保護者、地域社会に対してより積極的に発信し共有することが大切であり、本校の教育的価値への理解を深めることにつながると思う。こうした取り組みの積み重ねが、本校の教育の魅力が社会に伝え、結果として幼児児童生徒数に歯止めをかける一助にもなるものと期待する。
4	・生徒が進路学習や実習を「将来を考える機会」として高く評価しており、一人一人のキャリア形成が着実に進んでいる。 ・「人権の花運動」などを通じ、いじめ防止や人権尊重の意識を具体的に・継続的に指導している体制は非常に心強い。 ・キャリア・パスポートの評価指標について、教職員間での負担感や評価の難しさが指摘されているため、運用の簡略化や共通認識の形成を進めてほしい。 ・人権教育や心の教育、キャリア教育は短期的な成果として表れないこともあるかと思う。子供たちが将来社会で主体的に生きていく力として花開く教育であることが重要と考える。特に本校においては、自己肯定感や障害理解を深め、自分の思いや考えを他者に伝えながら社会と関わっていく力を育てていくことがキャリア教育の核心になると考えている。今後も卒業後の社会参加を見据えた長期的な視点で取り組みを積み重ねていくことを期待する。 ・聞かえないことへの不安やそこから心理的なストレス等について、カウンセリングのあり方など、再度検討が必要と感じることがありました。
4	・校務支援システム「BLEND」を県内で先駆けて導入し、活用している点は、学校のDX推進と信頼関係構築の好事例である。 ・地域の小中学校や医療機関へのST帯同支援など、センター的機能の発揮により、県全体の難聴児支援の質の底上げに貢献している。 ・図書室の開放や貸出期間の延長など、保護者が学校に親しみやすい環境づくりが具体的に進んでいる。 ・学校運営協議会について、医療関係者や当事者団体(県聴覚障害者協会など)の参画を求め現場の意見を尊重し、より多様な専門性を取り込んだ組織運営を検討してほしい。 ・家庭や地域、関係機関と連携しながら教育活動を進めている点が高く評価できる。 ・聴覚障害教育に関する専門性を活かし、訪問支援や相談、情報発信等を通して地域への支援を行っていることは、幼児児童生徒数減の中、さらにニーズが高まると予想される。県内における聴覚障害教育の専門拠点として専門的支援や情報発信を積み重ねることが、地域社会における聴覚障害教育への理解を深めるとともに、本校の教育的価値を広く伝えることに繋がる。結果として山梨県の聴覚障害教育全体を支える基盤の強化に寄与することとなり、さらには本校の存在価値を高めているよう期待するところである。 ・学校運営協議会で実施された「熟議」は、発展定着できると新しい何か生まれそうな取り組みだと思ふ。
4	・防災教育について、本校での取り組みの周知と併せて家庭での安全確保についても引き続き呼び掛けを行っていく。また、防災に関する体験的な活動を取り入れながら、災害時の聴覚障害者とその家族の対応についても学習できるようにしていく。 ・危機管理マニュアルの各職員の役割について、適度な間隔で確認を呼び掛け、役割や動きについての把握を促す。 ・感染症予防および感染後の対応について、引き続き周知徹底をしていく。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。